

平成 30 年度 第 3 回朝倉市まちづくり審議会 議事概要

1. 会議概要

日 時	平成 31 年 1 月 7 日（月）18：30～20：40	
場 所	朝倉市役所 別館会議室	
出席者	委 員	出席：19 名 欠席：5 名
	朝倉市	総務部長、 事務局（総合政策課）4 名
	コンサル	ジャパンインターナショナル総合研究所
次 第	1. 開 会 2. 会長あいさつ 3. 議事 （1）第 2 次朝倉市総合計画（素案）の諮問 （2）第 2 次朝倉市総合計画（素案）の説明及び審議 （3）パブリックコメントの実施について 4. その他 5. 閉会	
配布資料	第 2 次朝倉市総合計画について（諮問） （資料 1） 第 2 次朝倉市総合計画（素案） （資料 2） 施策・基本事業評価資料集 （参考資料 1） 目指すまちの姿（将来都市像） （参考資料 2） 第 2 次総合計画策定スケジュール （参考資料 3） 第 2 回朝倉市まちづくり審議会 議事概要 （参考資料 4） 第 2 次朝倉市総合計画〈素案〉へのご意見募集チラシ	

2. 議事要旨

（2. 会長あいさつ）

- ・第 2 次総合計画は、3 月末までの策定と決まったため、密なスケジュールとなっている。
- ・同時に、パブリックコメントも並行して行うため、1 回 1 回、充実した内容にしていきたいと思っている。よろしく願います。

（3. 事務局説明）

（1）第 2 次朝倉市総合計画（素案）の諮問

- ・質疑なし

（2）第 2 次朝倉市総合計画（素案）の説明及び審議

- ・序論について

委員名	質問概要	事務局答弁概要
1	10 ページの市民意識調査で「福祉の充実したまち」とあるが、望むまちの姿とはまったく正反対と感じた。 11 ページの望む姿では 2 位に上がっているが、現実としては低いと感じている。皆さ	

委員名	質問概要	事務局答弁概要
	んが望んでいる「福祉が充実したまち」になるには、時間がかかる印象を受けた。	
2	福祉のまちの充実が、現実と望む姿では乖離がある。 その下の「生活する上で、困っていること・不安なこと」の現在と10年後を比較しても、「老後の健康面・介護棟で不安がある」が、10年後のほうがとても高くなっているのは、福祉に関する課題があるからだと思う。災害があったので、特に福祉面の不安が強くなっていると思われる。	
	12 ページの下の写真は、今後入るということでいいか。	そうである。 (係長)
	ほかになければ、承認されたということで、次に進ませていただく。	

・基本構想について

委員名	質問概要	事務局答弁概要
3	目指す朝倉市のまちの姿として、少子高齢化や高齢者の福祉の問題がいわれている。「生涯現役社会」など、高齢になっても元気で生き生きとした生活ができるというイメージの表現を、下から2行目の「元気と笑顔があふれ」のあとに入れていただければと思う。	
4	今の意見に賛成である。朝倉市は少子高齢化の真ただ中であるが、高齢者であっても元気であれば、高齢者自身がやっていかなければいけないのではないかと。現段階では、その方向性がいいと思う。	
5	これは朝倉ではなくうきは市でも通用する。日本全国を見て、自然や水がキーワードになっている地方行政体は、6～7割くらいあると思う。 この計画自体はよくできた教科書であるが、これをいかに朝倉にあった味付けしていくかが、まちづくり審議会が一番大きな仕事だと思う。 市のホームページで今回のスローガンの「人、自然、歴史が織りなす 水ひかる 朝倉」がぼんと出て、本当にみんなが分かるのか。例えば「復興から未来へ」や「復興からの創造」というサブタイトルがあれば、ぴんとくるものがあるのではないかと。	響きがよく、短いメインタイトルで、市民の方に分かっていただけの都市像にしたい考えがあった。 サブタイトルについては、庁内の策定委員会でも出されたが、バランスの問題等、検討する中で、サブタイトルは付けないという結論に至った。 (係長)
6	表現としてはきれいなタイトルだと思うが、復旧・復興に10年はかかると言われている中、今後10年間の計画であれば、復興について一言でイメージできるような表現を入れていただきたいと思う。	「高齢者の元気あふれる笑顔」や、サブタイトルの件に関しては、パブリックコメントで寄せられた意見と、審議会で頂いた意見を踏まえた上で、再度、庁内策定委員会で検討させていただきたい。(課長)
7	「高齢者も元気」を入れるのなら、少子高齢化の解消を目指すということも含まれたほうが、将来像としては地方創生の大きな目標にもつながるのではないかと考えている。 これについては再検討ということで、次に進めていきたいと思う。	

・基本計画について（15～19 ページ）

委員名	質問概要	事務局答弁概要
8	<p>環境について、あまり変わっていないところもあったので、朝倉市の環境課のほうに電話をしているところである。</p> <p>今日持ってきている、福岡県の平成30年度版「環境白書」の中身について、第4次福岡県環境総合基本計画の中に7つの柱・目指す姿がある。こちらを参考に、環境部分の体系づくりをもう一度整理していただければと思う。</p> <p>ただ、環境保安法に関しては、朝倉市が持っている環境基本計画が基にあり、そちらと朝倉市総合計画は対になっているものだと思う。本来であれば、環境計画も同じような形で更新されていくはずであったが、災害のため1年延ばす形になっており、環境計画は古いままの状態である。</p> <p>そちらは、朝倉市環境課ともう一度協議していただきたいと思っている。</p>	
9	<p>基本目標4「次代につなぐ良好な環境の保全と循環型社会の構築」の具体的な部分について、環境の保全の中に循環型社会の構築は含まれる部分なので、「循環型社会の構築」は抜いてもいいのではないかと思う。</p>	
	<p>誤字等の細かい部分については、あとの項目のところでお話しさせていただく。</p>	
10	<p>18ページの4の10、11、12番のところを福岡県の7つの柱に合わせるといふことか。</p> <p>現在の環境の情勢は、時代の流れとともに変わっている。1番の「環境保全の啓発・推進」のあとは、自然共生のようなもので、自然環境保全と若干違う。3番の「地球温暖化対策の推進」も、今は低炭素社会、気候変動適応法などが実行され、新しいものになってきている。</p> <p>先に、こちらだけでも新しいものに変えてもいいのかなと思っている。</p>	<p>前回の審議会後、原課とは話をしており、原課の意向をくんで、あまり変えない形で、本日お出ししているところである。</p> <p>お電話されたということだが、事務局としては存じ上げなかった。</p> <p>明日にでも原課と連絡を取って、対応を考えていきたい。</p> <p>（係長）</p>
11	<p>施策13「農林業の振興」の中で、農業の項目と比べると、林業は10番目の「林業の振興」だけだが、内容は無いのか。</p> <p>例えば、8番の「農業基盤の整備」を、「農林業基盤の整備」にするなど、幾つかそういう形にすることはできないか。</p> <p>基本目標6に施策19「市街地の整備」とあるが、朝倉市の市街地とは、どの辺りを市街地と捉えているのか。</p> <p>「市街地の整備」と書いてあるということは、今言われた3つを中心に、整備されるということか。</p>	<p>農業に比べると、林業の施策・事業は少ないこともあり、1本だけとなっているが、林業の振興の下に、事務事業がたくさんぶら下がる形で、取組み自体は進めていこうと思っている。（係長）</p> <p>「農林業基盤の整備」といった手法もあると思うが、林業は林業でまとめて、「林業の振興」の中で、ぶら下げたいと思う。（係長）</p> <p>中心市街地とは、甘木地区を指している。市街地というのはいろいろな考え方があり、例えば都市計画の線引きだと、甘木地区だけではなく、立石地区等、旧朝倉町や杷木で中心の町があった所も市街地という場合もある。（課長）</p> <p>「市街地の整備」という言葉でいうと、甘木地区、立石地区等、もしくは朝倉町、杷木町の人口密集地域を市街地として整備を行うという、非常に大きなくくりで言っている。（課長）</p>

委員名	質問概要	事務局答弁概要
12	農地から考えて言えば、第3種農地で、すぐに家を建てられる所である。第1種は、基盤整備をしている所で家は建てられない。第2種は、町区画と基盤整備の間くらい。堤とか頓田ら辺は、家の隣に田んぼがあるが、ここが第3種農地で、市街化区域の線引きがされていれば、申請すればすぐに家を建てられる。	
13	法的な基準にのっとって、市街地整備をするかどうかという論点はあるが、その辺り、内部で定義できれば、ご報告願いたい。	
14	基本目標6の施策18「住環境の整備」について、朝倉市内でもかなりの数の空き家があるが、空き家対策の項目は起こさなくてもいいのか。	空き家対策は、85ページの「1 移住・定住の促進」の指標名に空き家対策についての記載がある。 (係長)
15	基本目標7の施策22「子育て支援の充実」の中に、「母子保健の充実」が書かれているが、父子家庭も増えていると思うので、父親という視点は入れないのか。	「母子保健の充実」は、主に母子保健法に基づく事業で、妊婦健診、乳幼児健診等を対象にしている。参考として、93ページの「2 母子保健の充実」に、先ほどいった事業がぶら下がる形になる。 ご指摘の父親と子どもだけの世帯等の家庭の支援となると、5番の「子育ての経済的支援」、3番の「切れ目ない相談支援の実施」、1番の「子育て環境の充実」にぶら下がる事業が出てくると思われる。こちらについては、基本事業名のいずれかに事業がぶら下がると考えている。(係長)
	これから外国人世帯も増えてくると思う。その子どもたちや家庭への支援は、どの辺にぶら下がるのか。そういう視点はお持ちなのか。	市として何か支援策や支援事業があるかということ、今の段階ではない。しかし、今後、市として、外国人の子どもたちへの支援の取組みは必要という認識は持っており、市を取り巻く動向の中に、共生社会の推進ということで、一項目として追加している。 今後、市が新たに事業として実施する場合は、基本目標2「人がつながり、支えあう活力ある地域社会の創造」のところに3つの施策があるので、そのいずれかにぶら下げて事業を実施したいと考えている。 (係長)
	今のところ、それほど必要ではなく、今後、10年の間に必要であれば、2番の基本目標のところにぶら下げていくという理解でいいか。	基本的に、そういう考えを持っている。構想は概ね10年を見ているが、この基本計画については、市長の任期に合わせて4年としているので、短い計画期間ということもある。取り組むときは、どこかの体系にぶら下げて事業をしていきたいと考えている。(係長)
16	4年ごとということとは、見直しが3年後になるので、そのときに問題が大きくなっていれば、文言としても反映していくということである。	
17	基本目標8「生涯にわたる学び、挑戦、活躍の推進」とあるが、「挑戦」とか「活躍」という言葉は、これまでの計画ではなかったような気がする。生涯学習とかスポーツであれば、その人の気持ちや力量に応じた学びを推進すればいいのではないかなと思うので、「挑戦」と「活躍」は取ったほうが	基本目標8「生涯にわたる学び、挑戦、活躍の推進」の文言について、いろいろな年代の人を対象にして表現したつもりである。今の段階で、イメージと違った捉え方もされると思うが、目標に向かって、一生懸命取り組んでいくということである。 (係長)

委員名	質問概要	事務局答弁概要
17	いいのではないか。 40～41 ページには、特に「挑戦」と「活躍」について、どのようにするのは表現されてない。その辺の考えを事務局に聞きたい。	文言については、検討させていただく。 (係長)
	幅広く底辺を広げるためなら、「挑戦」とか「活躍」という言葉はいらんと思う。身の丈に合った趣味を続けるとか、楽しみを学習していくということでもいいと思う。	
18	施策 24 の 5 番に「こどもたちへの学習機会の提供」と書いてあるが、この題目だけ見たら、施策 23「学校教育の充実」と同じように感じる。どういう中身なのかお尋ねしたい。	これは、地域と学校が一緒になって子育てする、コミュニティスクールをイメージしているのだから、基本目標の 8 にぶら下げたところである。 (係長)
	そうであれば、「機会の提供」というよりも、その内容が分かる見出しにしたらどうか。	基本事業については、この下にさまざまな事務事業がぶら下がるので、大まかな表現にさせていただいている。(係長)
19	施策 24 の 5 番の「こども」は漢字でなくてよろしいのか。	「子ども」に修正する。 (係長)
20	施策 19 の 2 番「市街地内の適正な土地利用の推進」について、「適正な土地利用の推進」という文言から、何の事業が発生するのか見えにくいので、具体的にどういったことを考えているか、教えていただきたい。	87 ページの「用途地域内未利用地面積」というのは、現状では、126.1 ha 未利用地があるので、それを宅地なり、商用地に転用していただくように促していく指標を持っており、それに合わせて、いろいろな事業がそこにぶら下がっている。(課長)
	基本目標 6「快適で住みよい都市基盤の充実」について、施策と分野の文言の順番、内容等の整合性があると分かりやすいと思う。	文言の整合性について、ご意見として承りながら、次の機会にご説明差し上げたい。 (課長)
	施策体系図で、重点分野の●が 20 個あるが、これを選んだ理由、何を優先したのか。	重点分野を 20 項目選んだのは、特に 4 年間、●が付いている部分に力を入れていくということである。それぞれの担当部署や庁内の検討委員会などでもんだり、市長にご意見を頂いて、決めさせていただいた。
	また、この●と 19 ページの下にある「横断的に取り組む分野」が混乱しそうな感じである。記号を変えていただいたほうが分かりやすいと思う。	19 ページは、「横断的に取り組む重点分野」と、「重点」という言葉が抜けている。これについては、重点分野とは別に、例えば、基本事業の中で「災害からの復旧・復興」に関連する事業が幾つもあり、復興計画の推進にあたっては、基本事業を横断的に、重点的に取り組んでいくという意味である。 一つ一つの選び方については、担当課に検討させていただいて、特にこの 4 年間どこに重点を入れるのかを選んでいただいているので、この場でご説明することができない。次回までには、ご説明できるようにしておきたいと思う。(課長)
21	環境、市街地、重点分野の根拠等、次回ご説明願います。	

・基本計画について (20～44 ページ)

委員名	質問概要	事務局答弁概要
22	32 ページの「農林業の振興」について、2 点ある。 1 つ目は、下から 2 番目の「消費者との交流による農村地域の活性化」の中に、消費者との交流や直売所等での交流と書かれて	担当課である農業振興課と協議して、次回の審議会までには答えを出していきたいと思う。 (係長)

委員名	質問概要	事務局答弁概要
22	<p>いるが、ここに「グリーンツーリズム」という表現がない。朝倉は、県の中でも一番農業体験が発展している地域で、修学旅行の農業体験を受け入れられるのは、県内でもこの地域だけである。ぜひ、この部分をもう少し強調した書き方にしてほしい。</p> <p>また、農村地域の活性化のための交流であれば、グリーンツーリズムと併せて「食育」という表現も必要なのではないかと思ひ、消費者との交流の「基本事業の目指す姿」の表現を、「グリーンツーリズムの実施や食育の推進、直売所の魅力アップにより、農業への理解や地域の活性化が進んでいます」と書いていただけないかと、ご提案したい。</p> <p>もう1つは、「魅力ある新たな朝倉ブランドの開発」も「6次産業化」という表現がないので、ぜひ入れていただきたいと思う。目指す姿に「新たな特産品や農産物の開発」とあるが、「新たな農産物の産地化や付加価値の高い6次化食品の開発により、朝倉ブランドの魅力が高まっています」と書き直していただけたらという提案である。</p>	
23	<p>施策11「循環型社会の構築」で、29ページの一番下が「ごみの不適切処理の抑制」となっているが、ここは「不適正処理」になるので修正をお願いします。</p>	
24	<p>全て「課題」と「施策の大綱」があるが、「課題」と「施策の大綱」の内容が重複している部分がある。「課題」には、分かりやすく課題だけを書く方向にはできないか。</p> <p>例えば、31ページの課題の一番下に「向上を図ることが重要です」とあり、施策の大綱の下から3行目に「向上を目指します」とあるように、重なっている部分があるように思う。</p>	<p>課題には言い回しとして、「〇〇が必要です」「〇〇が重要です」という形で、その〇〇を課題や問題点と捉えている。施策の大綱では、市として「進めます」「図ります」「取り組みます」という言い回しにしている。</p> <p>課題の言い回しについては、ほかの計画や他市の総合計画等を参考にして、こういった形で整理している。(係長)</p> <p>課題があつてそれに対して施策の大綱があるので、全てが対になっているわけではないが、見た目が同じような部分があるかと思う。課題と取組の方針は、最後のほうの言葉だけかもしれないが、この中で分けて整理をしているところである。(係長)</p>
25	<p>今、言われたことと言えば、「向上を図ることが重要です」を「図ることが課題です」と置き換えても同じような内容になるし、施策の大綱では、行政の方針としては「向上を目指して、行政として進んでいきます」と読めるので、同じような言葉が出てきても仕方がない部分もあると思う。</p> <p>45ページからは、パブリックコメントの対象ではない、行政評価のための指標である。ご意見があればお願いします。</p>	
26	<p>93ページの「4 児童虐待の防止」について、目標値が現状値と同じ22件になっており、検討が必要と思う。</p>	<p>前回の意見を踏まえ、ここに「児童虐待の防止」の事業名を挙げている。近年、虐待に関する相談件数が増加傾向にあるため、4年後の目標値は増えると想定されるが、担当課の子ども未来課は、今のレベルにとどめることを目標にしたいということで、</p>

委員名	質問概要	事務局答弁概要
26	確かに増加傾向にあるが、減少を目指していただきたい。目標値としては、現状よりもいい数値が出てきてほしいと思う。増えるのが当たり前ではなく、虐待が起こらないような取組みをしていただきたい。	同じ数字を挙げている。(係長)
27	成果指標と活動指標について、例えば57ページに「人権問題を学んだのべ市民数」とあるが、これは活動指標ではないかと思う。その下は、成果指標になると思う。	成果指標と活動指標について、児童虐待に関する相談件数は活動件数となるが、これだけではなく、件数で挙げている指標がほかにもあり、基本的には現行の行政評価で用いている指標となる。適当な指標がないとか、指標が設定できないといった理由で、仕方なく活動指標を指標に設定するケースもある。(係長)
	成果指標をどうとえるかは難しい問題で、ベンチマークとして児童虐待は0件が理想だけど、0件はあり得ない。児童虐待があって、市がきちんとフォローして救った率がどうかなど、成果指標の立て方は、これから議論していかないといけないところだと思う。	できるだけ活動指標ではなく、成果指標を指標名に当てはめることが望ましい。こちらは資料編で調整は利くので、担当課と相談して、どういった指標を据えるかは検討したいと思う。 (係長)
28	所々、行政用語が出てくる。例えば、40ページ「施策の大綱」の上から2行目の、「その学習の成果を社会に還元できる」を「社会に生かせる」にするなど、一般の人が読んで分かりやすいような文章にしていればと思う。	ご指摘のとおり、市民が読んですっと入っていくような分かりやすい文章になるように、パブリックコメントのご意見も参考にしながら、そういった文言になるよう努力していきたい。 (係長)
29	2ページの「計画策定の視点」の「1 市民に分かりやすい、職員が活用する計画であること」と書いてあるので、次回でもお気づきの点があれば、具体的にお示ししていただきたいと思う。	
30	68ページの「施策を取り巻く環境変化と課題/施策の基本方針」にごみの排出量が書かれているが、平成30年度版「環境白書」に平成29年度の福岡県の値954gが出ているので、最新のものを掲載していただきたい。	
31	参考資料として第2回の議事概要を出していただいているが、できれば、事前に郵送していただけたら、今回欠席された方への配慮になるし、私たちが出した意見がまとまって、どういうふうになっているかの確認もできるので、ぜひお願いしたい。	議事録については、次回の資料と一緒に送付していたが、本日の審議会の議事録からは、出来次第すぐに送付する形で対応させていただきます。

(3) パブリックコメントの実施について

・質疑なし

(4. その他)

・説明なし

以上